評価対象期間:令和4年4月1日~令和5年3月31日

施 設 名 高松市立玉藻公園

指定管理者	香川県造園事業協同組合	施設所管課等	文化財課	
指定期間	令和3年4月1日~令和8年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募	
所 在 地	高松市玉藻町2番1号ほか		・施設の管理運営に関する業務(各種申請受付、利用	
施設の概要	【施設】重要文化財(月見櫓、水手御門、渡櫓、艮櫓)4棟、披雲閣(重要文化財)1棟、陳列館1棟、発券場2棟、便所3棟、駐車場2か所 【開園時間】東門 7:00~18:00(4~9月)、8:30~17:00(10~3月)、西門 5:30~18:30(4~5月)、5:30~19:00(6~8月)、5:30~18:30(9月)、6:00~17:30(10月)、6:30~17:00(11月)、7:00~17:00(12~1月)、7:00~17:30(2月)、6:30~18:00(3月) 【休園日】12月29日~12月31日	業務の概要	調整等を含む) ・施設及び設備の維持管理に関する業務 ・施設及び設備の補修・修繕に関する業務 ・施設利用の促進に関する業務	

	項目名 令和4年度 令和3年度			項目名 令和4年度		令和3年度		
	入園者数	206,538 人	79,634 人		自主事業参加者数(人)	和船運航 4206	和船運航 1	,412
利用状況等	披雲閣利用日数	247 日	179 E	3		野外映画 260	お城ヨガ	129
	アンケート回収数	439 件	112 件	#		お城ヨガ 260		
	指定管理料	67,284 千円	70,208 千1	円				
収支状況等	収入実績(指定管理料除く)	29,010 千円	12,641 千	円				
	支出実績	96,294 千円	82,849 千1	円				

	評価基準	評 価 項 目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1	基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	高松市玉藻公園条例施行規則に基づき管理運営を行った。また、公園緑地管理上の資格者として樹木医(1名)・造園技能士(2名)・公園管理運営士(3名)等が常駐。管理甲種防火管理講習の課程を終了した防火管理者を配置し、自衛消防隊を組織、年2回(8月・1月)の消防総合訓練を行う。(1月は文化財防火デーの行事として消防機関の指導を受ける)消防設備点検を年2回行い、結果に基づいた保守を行っている。個人情報保護規定を定め、全職員が適切な取り扱いを行っている。ISO14001を取得し環境に配慮した取り組みを行った。	A
2	住民の平等な利用 確保	①管理運営、施設事業との関連性	市民の憩いの場である玉藻公園の設置目的を踏まえ、幅広い層の住民が安全・ 快適に利用できる緑地空間を目指して組合の技術を活かした。また、史跡高松城跡 にふさわしい自主事業を展開して施設の知名度向上に取り組んだ。参加無料の体 験型イベントにも注力した。披雲閣貸出しに当たっては、利用者の希望を十分に聞	s
		②平等な利用の確保	き入れながら平等な利用を確保している。	
		①利用促進対策	「緑を通じて社会に貢献」を目標に快適な緑地空間の提供とインターネット媒体での広報を積極的に行い、マスコミの取材にも積極的に応じラジオ・TV等、偏りのない広報に配慮した。自主事業では新たにオリジナルー筆箋を制作。(株)MIXI制作の城郭合体オシロボッツに協力「オシロボット高松城」で全国のお城ファンにアピールした。また附属高松小学校の縦割り創造活動「挑戦の時間」赤4組の授業に1年を通して全面協力、施設の魅力をPRした。高松市の広報番組「歴史礼賛」制作に全面協力した。高松市観光ボランティアガイド協会との連携で団体客との連絡調整を行った。高松市・香川県菊友会との連携で第67回高松市菊花展競技会を成功させた。春から秋の「お城ヨガ」、秋の披雲閣コンサートも無事に成功させた。業務日報や窓口連絡簿に基づいて行う日々のミーティングにブレーンストーミングを取り入れ、問題を	
	施設の効用の最大 限の発揮	②広報·PR対策		
3		③企画事業・自主事業		
		④市・関係団体・地域等との連携		
		⑤サービス向上の取組		
		⑥相談・苦情への対応	共有、サービスの向上や苦情への対応に全員で取り組んだ。	
r		①職員確保計画等	年中無休、長い開園時間に合わせた勤務ローテーションを組み、土日祝日の利用者が集中する業務に対応、平日に休日をとるなど働き方改革を行い職員に無理の無いよう工夫、改善し続けている。園内清掃を委託しているシルバー人材センターリ	В
4	・管理を安定して行う ための人員及び 財政基盤の確保	②教育・研修		
		③就業規則等の遵守	場作業員との月間工程安全会議で問題点を共有して作業にあたっている。全職員 を対象に日々のミーティングで接遇マナーについて話し合っている。またISO9001	
		④施設運営の健全性の確保	14001を取得するなど組織の改善に取り組んだ。職員を対象とした健康診断を実施している。管理業務に付随する賠償責任に対する備えとして、施設賠償責任保険に加入している。	
		⑤損害保険等		
		⑥収支計画と執行管理		
	5 管理に係る経費の 縮減	①収入の確保・適正な人件費	入園者数、利用料金収入とも前年度を上回った。自主事業収入(自動販売機・来園記念品販売費・鯛エサ販売)を指定管理運営費に繰り入れ、新たな自主事業の	
5		②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点	開を図っている。利用料金収入の増収部分は緑地管理と清掃に充てて施設の価値を高める取り組みを行っている。利用料金収入を増やし、指定管理料を縮減する取り組みを行っている。本部組織に検査機関を設け管理運営・経理等の点検が適切	Α
		③経営の効率化	の組みを行うといる。本部組織に快量機関を設け管理連盟・程理等の無機が適切に行われた。	
		④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
史跡及び都市公園として、利用者が十分に憩い楽しめるよう、管理の経験や技術を生かした安定した実施状況が伺える。重要文化財である建造物の公開や内堀での 和船の運航等、施設の特色を生かした効果的な自主事業を継続的に実施している点や、幅広いメディア媒体を生かした情報発信、主催者及び関係団体と連携したイベントや企画を行う等、積極的に史跡及び史跡地内の文化財のPRが図られた点を評価したい。 新型コロナウイルス感染症の規制緩和に伴い、入園者数及び披雲閣利用数並びに利用料金のすべてにおいて前年度の実績を上回り、新型コロナウイルス感染症流行前の数値まで回復してきている。 運営経費については、効率的な運用に努め、利用料金の増収部分を施設修繕や新規事業に充てる等、将来に繋がる環境整備や公園の魅力向上に貢献している。 今後については披雲閣の耐震補強等の随所で工事計画や、イベント開催等に伴う園地の使用提供がある中で、施設の管理及び利用に関して、より一層市と連携し、利用者の安全を第一としながら効果的な利用の取組みをお願いしたい。	